

学びの導入 —なぜ「海と生きる」なんだろう?— 4

A章 海と出会い、なかよくなる 6

- 「海となかよくなる」って、どういうこと? ……6

B章 海の恵みを知る 8

- 海はどのような生命を育てているの? ……8
  - ・海が育む生命(生き物)を見つけよう
  - ・生き物の持ちようを調べよう
- 海と生命には、どのようなつながりがあるの? ……10
  - ・生き物たちの生命のつながりを探ろう
  - ・生命と環境とのつながりを探ろう
- 「海の恵み」って、何だろう? ……14
  - ・海はどのような恵みを与えているのか考えよう

\*コラム: どうやって「海となかよく」なるの?—海を見つけよう ……15

C章 海の仕組みを知る 16

- 海は、どのような姿をしているの? ……16
  - ・気仙沼の海の姿や持ちようを調べよう
  - ・海の水の流れと仕組みを探ろう
- 海は、どのような働きや役割をもっているの? ……18
  - ・水の循環と、海に溶け込むものを調べよう
- 人類は海にどのような影響を与えているの? ……20
  - ・地球温暖化の海への影響を考えよう
  - ・気象災害について考えよう

\*コラム: どうやって「海となかよく」なるの?—海を感じよう ……23

D章 海をいかす 24

- 気仙沼では、どんな魚がとれるの? 何を育てているの? ……24
  - ・気仙沼の漁業(とる)について調べよう
  - ・気仙沼の養殖業(育てる)について調べよう
- 海で働く人は、どんな仕事をしているの? ……27
  - ・漁業(とる)で働く人の仕事と思いを調べよう
  - ・養殖業(育てる)で働く人の仕事と思いを調べよう

- 他には海に関わるどのような仕事があるの? ……31
  - ・多様な仕事を調べ、互いのつながりを考えよう

\*コラム: どうやって「海となかよく」なるの?—海とつながろう ……33

E章 海と生きる文化を重ね、伝える 34

- 気仙沼で生きる人びとは、どのような文化を積み重ねてきたの? ……34
  - ・地域の民俗文化を感じ取ろう
  - ・気仙沼の人びとが海をどのようにとらえてきたのかを考えよう
- 気仙沼で生きる人びとは、自然災害にどのように向き合ってきたの? ……37
  - ・災害リスクと防災・減災について調べよう
  - ・災害の記憶を受け継ぐことについて考えよう

\*コラム: どうやって「海となかよく」なるの?—海を表そう ……39

F章 海と生きるまちをつくる 40

- 気仙沼の人びとは、どのように「気仙沼」というまちをつくっているの? ……40
  - ・気仙沼市の「まちづくり」行政を調べよう
  - ・地域の人々びと(市民)の「まちづくり」を調べよう
- 気仙沼のまちには、どのような新しい課題が生まれているの? ……43
  - ・国際化が進む気仙沼の産業に、どのような新しい課題があるか考えよう
  - ・自然環境の汚染とその影響について考えてみよう

まとめ —海と生きる未来をどう描こう?— 46

- 「海と生きる」とは、どういうこと? ……46
  - ・「海と生きる」生き方を振り返ろう
  - ・なぜ「海と生きる」なのかを考え、文字にしてみよう
- 未来で「海と生きる」ために必要なこととは何だろう? ……48
  - ・海との関わりを比較しよう
  - ・「海と生きる」ために必要なことについて考え、話し合おう
- これから、どう「海と生きる」? ……50
  - ・「海と生きる」未来を描き、これからどうすればよいのかを考えよう
  - ・自分の生き方を見つめよう

資料編 52